

VI 広 報

VI 広 報

1. <観点>広報活動の状況

広報委員会が設置され、広報活動を展開している。平成 22 年度から平成 25 年度は、1) 広報に関する企画及び立案、2) ホームページに関する運営・企画、3) 広報誌に関する編集・発行、4) その他広報活動に関することを推進した。

(1) 一般広報活動

1) 刊行物（資料 51、52）

「光れる北」と題したリーフレットを毎年発行している。平成 22 年度から平成 25 年度にこのリーフレットの大幅な改編を行い、後述する入試用に配布するほか、オープンキャンパスや体験入学でも活用し、一般への配布を行っている。

平成 23 年度からは大学院の紹介を行うニュースレターの発行を年 2 回行っている。このニュースレターの中では、各研究室、学生の声、教員の声、カリキュラムやサポート体制などの修学環境、研究活動などの特集を組んで紹介している。

平成 25 年度には研究科及び学部を紹介するパンフレットの日本語版、英語版をそれぞれ作成した。このパンフレットは、国内はもとより、海外に渡航する教員にも配布し、海外においても当該研究科/学部の活動を広くアピールできる体制にしている。

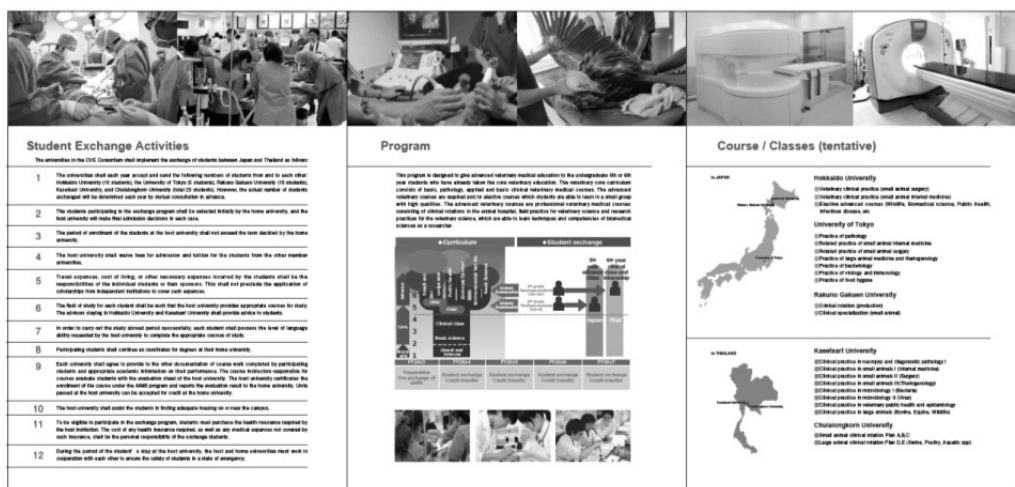
大学の世界展開力強化事業におけるタイの大学との連携教育では、シラバスを発行し、また広報向けに日本語及び英語のリーフレットを作成している。

資料 51 研究科/学部を紹介するパンフレット（上段）とニュースレター（下段）



大学院の活動を紹介する「ニュースレター」は、別添資料 21 参照

資料 52 タイとの単位互換相互派遣事業を紹介するリーフレット



2) ホームページ

平成 25 年には大学院獣医学研究科/獣医学部のホームページをリニューアルし、新たなウェブサイトを開設した（資料 53）。ユーザーフレンドリーなデザインに一新したほか、コンテンツマネージメントシステム（CMS）の導入により、最新情報を頻繁にアップロードすることで、常に新しい情報を提供できる WEB サイトにしている。

資料 53 獣医学研究科のホームページ (www.vetmed.hokudai.ac.jp)

大学院博士課程リーディングプログラムの開始に伴い、平成 23 年度に大学院の活動を報告するホームページを開設した。このホームページでは、大学院教育の目的・理念、カリキュラム、特徴などの情報を掲載するほか、シンポジウムやセミナーの企画などを周知する掲示板としても活用しており、またインターンシップの紹介も行っている。研究及び教育活動の報告書を掲載し学生及び教員の活動をアピールするほか、

申請書を入手するためのポータルサイトとしても機能している。

学部のウェブサイトとして、帯広畜産大学との共同獣医学課程の WEB サイトでは、カリキュラムをはじめとする教育内容を紹介している。また、大学の世界展開力強化事業では、平成 25 年に日本語、英語、タイ語のホームページを開設したほか、フェイスブックも立ち上げており、ソーシャルネットワーキングサービス（SNS）を活用した広報も行っている。

3) その他

アウトリーチ活動として、平成 22 年度から平成 25 年度も、継続的に高校における出前授業や一般展示への参加を行っている。平成 24 年度からスーパーサイエンスハイスクールの一環として、釧路湖陵高校において、野生動物学、薬理学、毒性学に関する授業を研究科独自で行っている。また、平成 25 年には茨城自然博物館において当該研究科の研究活動が紹介・展示された。同年には札幌市円山動物園における展示にも協力し、ブースを出展している。

平成 23 年に起こった震災後には、北海道大学生物生産研究農場の原乳の放射性ヨウ素と放射性セシウムを分析し、その結果を放射線学教室のホームページに掲載するなどの社会貢献も行った（資料 54）。本測定は平成 25 年 2 月をもって終了したが、震災後、2 年間で 9 万以上のアクセス数をカウントしており、社会的な要請にも応える結果となった。また、当該問題については、多くのテレビ局や雑誌、新聞の取材にも応対し、科学的な根拠に基づいた知見の提供を行っている。

資料 54 「8/13 スーパーニューススペシャル HTB（北海道放送）、研究室でのインタビュー取材（原乳の放射線汚染モニターの紹介と人体影響についてコメント）」



(2) 入試広報

1) 刊行物

高校生向けにリーフレットを作成し、配布している。このリーフレットは平成 25 年にデザインを一新し、大判タイプのリーフレットから冊子体に改訂を行い、より多くの情報を掲載できるようにした。

また、大学院博士課程リーディングプログラムでは、大学入試のために日本語及び英語のパンフレットを作成しており、国内だけではなく、海外にも広く配布している。

2) ホームページ

学部及び大学院入試に必要な情報は、獣医学研究科、あるいは研究科のウェブサイト、いずれを介して入手できるようにしている（資料 55）。

資料 55 大学院の紹介のためのホームページ（入試情報のページにアクセスできる）



3) その他

平成 24 年から、年 1～2 回、東京（於国立科学博物館）と札幌（於北海道大学大学院獣医学研究科）において大学院説明会を開催している。この説明会では、ポスターとチラシを作成し（資料 56）、国内獣医系 16 大学に広く周知するほか、社会人入試のために公立の研究機関にも周知を行っている。説明会には学生及び教員が参加し、入試の情報、大学院におけるカリキュラム、学生サポートの説明のほか、学生の大学院における就学や生活の紹介を行っている。

資料 56 獣医学研究科「大学院説明会」のポスター



（３）同窓会関連広報

１）刊行物

同窓会誌の発行を毎年行っている。この同窓会誌には、同窓会員の名簿や会員の動向のほか、研究科の活動や新任教員の紹介を行っている。同窓会員数は平成 22 年度より 2300 名以上となっており、会誌の発行部数は 2000 部を超え、毎年、国内外に配布している。

２）ホームページ

平成 22 年度以前にすでに同窓会ホームページを開設しているが、平成 25 年度に北海道大学大学院獣医学研究科のウェブサイトを新たにリニューアルして開設したことから、このサイト内に同窓会のホームページを移行し、管理を CMS 化することで情報更新の頻度を上げ、より情報の入手を容易にした。

【観点ごとの分析】

継続的な刊行物の作成、ホームページを介した情報のリリースを行ってきたが、特に平成 24 年度以降、これまで構築してきた冊子体や WEB サイトを次々とリニューアルし、より情報量を増やすほか、デザインを一般向けにし、管理運営方法をシンプル化するなど、積極的な工夫と改善を図っている。

【分析項目の水準と判断理由・改善方策】

（水準）

期待される水準を上回る。

（判断理由）

広報委員会が中心となって刊行物やホームページによる広報を積極的に行っている。また大学院説明会を研究科独自で行い、一般向けの展示にも積極的に参加するなど、多くの情報を発信しており、期待される水準を大きく上回ると判断した。

（改善方策）

ウェブサイトは常時、システム上の改善を行っており、今後もリアルタイムでの情報提供を可能にしていく。広報誌についても新たに様々な発刊を行ったことから、平成 26 年度以降は、それぞれの用途に応じた最新の情報をリリースできる体制づくりを行う。